

## 第1回新しい学校づくり阿南市地域協議会議事録

委員

地域別説明会では阿南市においては、4校を3校にするという説明でした。現在、その対象校については阿南工業と新野高校の2校が該当ということですか。

どうしてその2校となったのかという説明を教育委員会から受けていません。この2校の再編案について幅広く意見を聞くべきです。意見を聞く方法としては、事務局の提案する方法でもよいと思います。

委員

他の地域協議会でこのような意見はありましたか。どのようにして市民・住民からの意見を聞けばいいか提案はありましたか。

県教育委員会

特にありませんでした。会場等の都合もございますので、会議録の公開により、ご意見をいただく形を取りたいと考えています。

委員

市民の意見を集めてもいいのですか。新野高校の保護者会やPTA会で意見を聞いてもいいのでしょうか。

県教育委員会

設置要綱の第6条第3項で「会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めその意見を聴くことができる。」とあります。

協議会は原則公開でありますので、会議録を公開する形で、関係者、市民のご意見を伺いたいと考えております。

委員

この協議会は住民参加になっているといえるのでしょうか。ある程度の結論が出てから、意見を求める形になっていると思います。

県教育委員会

高校再編方針は公募委員も含めて策定しました。教育委員会内部で決めたのではなく、地域別説明会のご意見等も参考にしながら策定しています。

今から、どこを再編対象校にするかというように、元に戻って議論はいたしません。

委員

4校から3校にする説明はしていただきました。しかし、2校を中心とした説明はされていません。このことに対する周知・説明が必要なのではないのでしょうか。

委員

段階を踏んで高校再編方針は策定されています。それを踏まえ、新しい学校をどうしていくかというのを協議会で議論していきたいと思っています。いずれにしろ少子化があり、阿南市内が4校から3校になることは避けては通れない状況です。

委員

なぜ、阿南工業と新野高校が再編対象校なのか、住民に説明がなされていません。中間

報告については説明会があり、意見を出すことができました。  
再編方針についても同様に説明すべきではないでしょうか。

県教育委員会

地域別説明会の中で、どの高校を再編するかについてのご意見をいただいています。

県教育委員会

4校から3校になるという説明をし、ご意見も伺っています。

委員

2校について、住民には公式に説明されていません。マスコミで断片的に報道されているだけです。方針を読めばわかると思いますが、関係者・住民は知らない人もたくさんいます。なぜ、対象校になっているのか理解できない卒業生・関係者がいます。

県教育委員会

本日の会議の流れとして、まず、再編方針について説明させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員

富岡東高校の商業科、看護科の位置づけはどうなっているのですか。

委員

現状のままという方針です。

県教育委員会

まずは阿南工業、新野高校の2校のことをご協議いただきたいと思います。  
その中で案があれば、ご協議いただきたいと思います。

委員

新野高校の総合学科は4年目ですね。鳴門第一高校と城西高校も総合学科になったと聞いていますが、その成果はどうなっているのですか。

県教育委員会

総合学科では多様な教育が可能になります。

生徒が自分で時間割を考えることは、生徒と教員の関わり方が密になりますし、自分の進路についても真剣に考えることになります。

また、自分の苦手科目を選択しなくてもよくなるので、苦手科目でつまづくこともなくなるなどのメリットが考えられます。

だんだんと認知度も高まってきており、進学には総合学科卒の推薦もあります。

総合学科では、ある程度の人数がいないと系列が少なくなってしまうので、ある程度の規模が必要になります。

委員

県教育委員会の方針として、現在、県下には3校の総合学科がありますが、総合学科をこれ以上増やすことはあるのですか。

県教育委員会

既に総合学科を3校設置しておりますので、これ以上大きく増やすことはありません。

## 県教育委員会

教育委員会では、平成14年2月に高校教育改革推進計画を策定し、平成14年度から8年間で推進しております。平成17年度までを前期の推進期間としており、その中で新しいタイプの学校（総合学科，単位制）を導入してきました。現在，前期の取り組み状況を検証するために，アンケートや学校訪問をして，ヒアリング等を行っております。

## 委員

新野高校は4年前に総合学科になっています。進路だけでは判断できませんが，学習意欲などを総合的に評価し，再編の際にはその成果を踏まえて協議をしていくべきです。今後の方向性，将来を考える上で，成果が大切になってきます。

## 委員

協議会では具体的に何を協議するのでしょうか。  
方針等を見ると全て決まっているように思うのですが。

## 事務局

新しい学校のあり方，基本方針，学科再編や新学科の設置，また，2校間の学校間連携や地域連携をどうするか，教育環境をどうするかなどを協議していただきたいと思います。

## 委員

高校再編方針の中に学科についてなど，ほとんど書いてあるように思います。

## 事務局

それはあくまでも再編の骨子であり，いろいろな設置案等があると思いますので，協議会で肉付けをしていただきたいと考えています。

## 委員

もう答が出ているように思います。

新野の総合学科と阿南工業の理数コースを統合して総合学科にし，阿南工業の機械電子コース・電気コース・情報土木コースの3つをものづくり科にするというように決まっているように見えます。

## 県教育委員会

再編方針は基本しか定めておりません。先程も新野高校から説明がありましたが，総合学科になって女子生徒が増えているということなので，例えば女子生徒の希望に添うような系列なども含め，こんな教育をしてはどうかというご意見をいただけたらと思います。

## 委員

新たな学校を新設するのか，それとも統合するのかによって協議の内容は変わってくると思います。少しずつ焦点を絞る必要があると思います。

## 委員

再編方針の中には，現在ある設備を有効利用するとあります。これは新しい施設・設備は考えていないということでしょうか。

新野高校の生徒は，阿南工業高校に通学することになるのでしょうか。

## 県教育委員会

学校の場所については、効率的な施設活用の観点から、現在の校地を前提としております。

基本的には使える施設・設備は利用し、足りないものがあれば造るという考え方です。

## 委員

子ども達の教育環境をさらにいいものにしていく必要があると思います。新野高校の総合学科、阿南工業の類・コース制というカリキュラムの違いをどのようにして統合するのですか。統合してよりよいものにするためにはどうすればいいとお考えなのですか。

## 県教育委員会

2校が統合すれば、教員数が増えることになり、理科などは全科目の教員が配置可能になります。

総合学科と工業科のお互いの科目も学習可能になりますし、生徒数が増えれば、いろいろな種類の部活動を行うことができるなどの活性化も考えられます。

## 委員

教員が増えて、よりきめ細かな対応ができるということですね。

## 委員

2つの違う施設を別々に離れた場所に置いておいて(スクールバスを利用したとしても)有効活用することは難しいと思います。

基本的には一箇所にまとめ、ある程度の生徒数を確保することで、先生も増え、生徒も色々な類型を選択することができるようにするべきです。

## 委員

校地はどこにするのかという問題ですが、阿南工業と新野のどちらが中心になるのでしょうか。それとも新しい場所になるのでしょうか。

## 県教育委員会

現在の校地を有効活用することが基本になります。

まずは、阿南市地域で必要な教育は何かをしっかりとご協議いただきたいと考えております。

## 委員

新しい学校づくりに向けて、それぞれの学校で特色ある学校づくりをしていく必要があります。それぞれの学校には推進委員会があります。そこである程度の原案を作成し、実務者会議で協議し、この地域協議会に提案できればいいのではないかと思います。

## 委員

校内での推進委員会を活用して、両校が新しい学校づくりを推進していけるようなご意見を出していただけたらと思います。

## 県教育委員会

学校が原案をつくるという話ですが、委員さんの中からもこんな教育を入れてほしいというご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

## 委員

ものづくり離れが言われています。21世紀になって、工業化社会から知識化社会へ移行しています。これまでの教育の成果を考えると、社会性の育成に問題があるように思います。社会力、社会的常識、人間力の育成に力をいれた教育のあり方を提案できればいいと思います。

## 委員

現在ある施設、設備を有効活用という説明ですが、それにとらわれず通う子ども達にとって、将来的な社会性や時代のニーズに合うといった観点で新設校を協議していけたらと思います。将来、子どもにとって何が一番大切かということを協議していきたいです。

## 委員

小規模校のメリットについても教えてください。  
また、起業家育成教育の充実を図ってほしいと思います。

## 委員

適正規模の中で、子ども達を大切にしていける教育をどうするかということです。小学校であれば小規模でもいいと思いますが、高校生ともなれば、社会性を養うという意味でもある程度の規模は必要ではないでしょうか。

## 委員

阿南工業と新野だけの話ではありません。地域社会全体で考える必要があります。少子化が問題の発端ですが、少子化の中でより一層、活性化していくように考えていかなければなりません。1校減ったとしても、学校、子ども、地域社会が活性化するような案を出していくことが協議会の役割だと考えています。  
また、時代に合った科を考える必要もあると思います。

## 委員

阿南地域にどれだけ魅力、活力がある高校をつくるかが課題です。少子化など社会の変動の中、21世紀の担い手として何が求められているかを考える必要があります。

より特色ある専門教育について、例えば、ものづくり科であれば、野菜を工場で作るということを考えれば、工業と農業の接点があります。また、地域住民から、阿南の高校にも福祉や介護を学ぶ学科をとる意見があれば、それをくみ上げて、我々が意見を提出すればいいと思います。

子どもや保護者がどんな高校で学びたいか、21世紀の社会がどんな担い手を要求しているのかという二つの視点が大切です。阿南に生まれたから受けられない教育があるというのではなく、阿南でも多様な教育を受けられるようにするべきだと考えます。

場所をどこにするかという問題よりも、生徒が行きたいと思える学校にするように意見を出すのがこの協議会の役割ではないでしょうか。

## 委員

阿南工業がどんなに地元への就職がいいと説明しても、保護者の希望はやはり普通科です。ですから、阿南工業と新野ですばらしい高校をつくっていくべきだと思います。

## 委員

広く住民の意見を集め、他の地域にないような学校をつくっていききたいと思う。

## 委員

キャンパスが2つというのは、教育の効果面で問題があります。阿南市も将来的には合併が進行していくはずですが、長期的な視点を持って、過疎化を早めるような再編は避けるべきです。将来の阿南市の合併の状況を踏まえ、過疎化を食い止め、活性化する新しい高校を作っていかなければなりません。